５年前のこの日

江戸川区立東小松川小学校長
田中　孝宏

２０１１年３月１１日午後２時過ぎ。５年前のこの日、わたしは杉並区立杉並第四小学校の副校長として勤務をしていました。職員室の自席に座っていたところ足下から突き上げるような揺れが起こりました。慌てて緊急用マイクの場所に向かいマイクを握りました。「地震です。これは訓練ではありません。教室にいる児童は机の下に入りなさい。校庭や体育館にいる児童は真ん中に集まりしゃがみなさい。」細かな揺れは続いているものの落ち着いてきたところで、全児童に校庭への避難を促しました。校庭で並び点呼をする風景は訓練通りでした。

しかし、その校庭は、それから数分もしないうちにJR高円寺駅前の会社の方々や商店街に買い物に来ている方々でみるみるいっぱいになっていきました。児童を見失うことがないようにと考え、ブルーシートを敷き各クラスごと担任の先生とその上に座ってもらいました。しばらくすると、逃げ込んできた方々は、徐々に校庭から去り始めました。また、心配して家庭から迎えに来た保護者の方々へは、担任が一人一人確認しながら引き渡しを行いました。

夕方になると気温が下がり寒さを感じるようになってきました。そこで、校長と相談して体育館を避難所として開放することにふみきりました。体育館に移動した児童は、迎えが来ないことの不安から声もなく友達同士寄り添っていました。担任の先生方は、保護者の方々との連絡を続けていましたが、電話がなかなか通じませんでした。すべての児童を保護者に引き取ってもらえたのは、翌日の朝方でした。

一方、体育館は、朝方まで帰宅難民であふれ、私たちは炊き出しの提供、400枚以上の毛布の配布と、寝ずに働き、後片付けが済んだのは、翌日の夕方でした。

あれから５年の年月が経ちます。前任校の江東区立第二亀戸小学校では、毎年この日に、岩手県釜石小学校、愛知県知多半島三河湾に面する棚尾小学校とＴＶ会議を使っての防災集会をしていました。忘れてはいけないこの日。こどもたちに防災の大切さを伝え続けたいと思っています。